電気事故速報（記載例）

令和４年９月２日

中部近畿産業保安監督部 近畿支部 電力安全課　御中

発電設備の所在地　○○県○○市○○区○○　○丁目○番地

発電設備の名称　○○第一発電所

電気関係報告規則第３条の２第２項の規定により報告します。

１．事故発生日時　令和４年９月１日午前９時１５分（令和4年9月2日9時覚知）

*※事故の発生を知った日時（覚知日時）と事故発生日時が異なる場合は、両方併記します。*

２．発電設備　　　①太陽電池発電設備

　　②風力発電設備

　出力電力：45ｋＷ

*※太陽電池発電設備又は風力発電設備に丸を付け、発電設備全体の出力電力を記載します。*

３．事故が発生した電気工作物

逆変換装置（PCS）1台（定格出力10kW）　○○電気製 　2013年製

*※事故が発生した電気工作物を具体的に記載する（例えば、｢**太陽電池モジュール｣、｢**逆変換装置（PCS）｣、「風車ブレード」など）。種別、製造会社、型式、製造年等が分かれば、あわせて記載します。*

*※逆変換装置（PCS）の場合、破損したものの出力を記載します。*

４．事故の種類　　①感電死傷事故（感電死亡、感電負傷、感電以外の死傷事故）

　②電気火災事故

　　　　　　　　　③物損等事故（他者への損害事故）

　④破損事故（設備の破損事故）

*※該当する事故に◯印を入れます。事故が2つ以上にわたって発生した場合は、全ての事故に◯印を入れます（例えば、感電事故に伴い波及事故が発生した場合はそれぞれの事故に◯印を付けます）。*

５．事故の概要（必要に応じ図面等を添付）

R4.9.1　9:15　PCS1台が運転停止（警報履歴より）。

　　R4.9.2　9:00　PCS1台からの警報を受けて管理会社の作業担当者が現場を確認し、PCS本体のAC側遮断器がトリップし、PCS内部の基盤及びコンデンサが焼損していることを確認した。メーカーに連絡したところ交換が必要と判断された。

*※事故の概要について、報告者が知り得た範囲で記載します。参考となる資料（写真、構内図、仕様書等）がある場合はあわせて添付します。*

６．被害者の情報（死傷者がいる場合に記入）

　①性別：　男・女　　②年齢：　歳　　③区分：作業者（所属　　　　　）・公衆

*※死傷者がいる場合に記入する。死傷者が2人以上となる場合は全員分記載します。*

７．事故の原因

*※報告者が知り得た範囲で記載する。不明の場合でも、できるだけ事故の状況から推察される原因について記載します。*

８．応急処置

PCS本体のAC側及びDC側の遮断器を開放した。

*※電気工作物の応急復旧等について記載します。*

９．復旧対策

　　PCS本体を代替品と交換予定。

*※本復旧の実施方法、内容について記載します。*

１０．復旧予定日時　　未定（メーカーと調整中）

※応急復旧、本復旧の日時（予定を含む）について記載します。

１１．報告者　　所属：○○電気保安　○○営業所

氏名：○○　○○

　　　　　　　　連絡先電話番号：○○○-○○○○-○○○○

　　　　　　　　連絡先E-mailアドレス：[○○○@○○. ○○. ○○](mailto:○○○@○○.%20○○.%20○○)

*※報告担当者の所属及び氏名を記入します。*

*※連絡がとれる電話番号及び電子メールアドレスを必ず記入します。*

報告先：　中部近畿経産業保安監督部 近畿支部 電力安全課

　　　　　電子メール：exl-kinki-denkijiko@meti.go.jp

　　　　　FAX番号：06-6966-6092　電話番号：06-6966-6056